

請 願 文 書 表

受理年月日 及び番号	平成27年2月6日 第64号
件名	小、中学校の全学年に35人学級を拡大し、さらに「30人学級制」にするよう、都及び国に要請することを求める請願
請願者	文京区本駒込五丁目15番12号 新日本婦人の会文京支部 代表 榎戸忠子
紹介議員	萬立幹夫
請願の要旨	次頁のとおり
付託委員会	文教委員会

請願理由

子どもたちは、保護者や社会にとって一人ひとりがかけがえのない存在です。わくわくしながら学校生活を送れるような環境を社会全体が整えることは大切です。

児童の人格、才能、精神的、および身体的能力を可能な限り全面的に発達させる、という子どもの権利条約にそった状況をつくりあげる努力をするために、私たちは学校における1クラスの人数を「30人制」にすることを願い続けてきました。

子どもたちはそれぞれ個性があり、理解力の違い、友達交流に入りにくい子や、順調に学校生活に慣れる子など、またそれぞれの家庭環境も違います。そうした子どもたちの学習及び生活指導全般に先生の目が行き届くように、私たちは少人数学級を望みます。

保護者が望む学級規模は、35人以下から30人の声が多いです。少人数学級の良さを調査した報道もあります。

主要国では20～30人学級が普通です。2011年のOECD平均では初等教育は21.3人、前期中等教育では23.4人となっています(平成25年度版文部科学白書)。

今、40人学級に戻す動きもありますが、子どもをとりまく学校や社会状況から逆行するものだと思います。

私たちは今おこなわれている公立小学校、中学校の35人学級を維持し、全学年に拡大し、さらに30人学級になることを願い下記のようにお願いいたします。

請願事項

- 1 小、中学校の全学年に35人学級を拡大し、さらに「30人学級制」にするよう、都及び国に要請してください。